



中学部 学部授業研究会実施

中学部保健体育科（グラウンドゴルフのグループ）で学部授業研究会が行われました。今回は学部授業研究会の様子についてお伝えします。

中学部保健体育科 特総体に向けて～グラウンドゴルフ記録更新を目指して頑張ろう～



<未来へのスケッチ×授業づくりのつながり>

生徒たちは「未来へのスケッチ」に「特総体で優勝したい」や「去年よりも少ない打数で打ちたい」などと記入し、保健体育科の特総体グラウンドゴルフ練習に取り組んでいる。技術向上だけでなく、友達を応援したり、アドバイスを受け入れたりしながら仲間と一緒に頑張る姿勢も育てたいと思い、授業を計画した。



<授業者のしかけ>
上達ポイントの提示
～自分の課題克服のために～



<生徒の様子>
・ポイントができていないか自分でチェックしたことで、自分の力を知ることができ、課題を意識して練習することができた。また、距離に応じた振り方の練習では、時計をイメージした教材を活用しながら、全員で振り幅を確認したことで、①ロング②ショート③アプローチでの振り幅を意識して振ることができた。

さいご 最後 5-7時



<授業者のしかけ>
タブレット端末の活用
～フォームの共有や思いを伝えるツールとして～



<生徒の様子>
・一人一人のフォーム撮影し、グループごとに見合う時間を設定した。スロー撮影機能を活用することでクラブの振り幅やボールの当たったところなどに気付き、自分で修正したり、友達にアドバイスしたりする姿が見られた。ワークシートの記入では、「canva」を活用し、目標の設定や振り返りを行った。話したり、字を書いたりすることが苦手な生徒が頑張りたいポイントを選択したり、本時にできたことを言葉で伝えることができた。



プロゴルファーへのみち

特総体 の 目標
近くなったとき丁寧に打つ。

今日の練習ポイント

ふりかえり

今日のスコア

2 4

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

ひとこと
戻すときに打てて良かった

発表する
みんなの前で発表することができました。この調子で頑張ろう！



<授業者のしかけ>
「いいねカード」の活用
～友達よさに気付いたり、応援したりするなど温かい雰囲気を目指して～



<生徒の様子>
・友達へ温かい言葉掛けや協力して準備・片付けをしている場面で生徒に「いいねカード」を提示し、即時評価を行った。始めは、友達がもらっている姿を見て、言葉掛けや応援をしていたが、徐々に友達に対して「頑張れ！」や「惜しい！」「手伝うよ」と自然に言葉を掛ける姿が多く見られるようになった。また、温かい言葉掛けが増えてきたことで、教師や友達同士信頼関係が深まり、助言に対しても受け入れる姿が見られた。

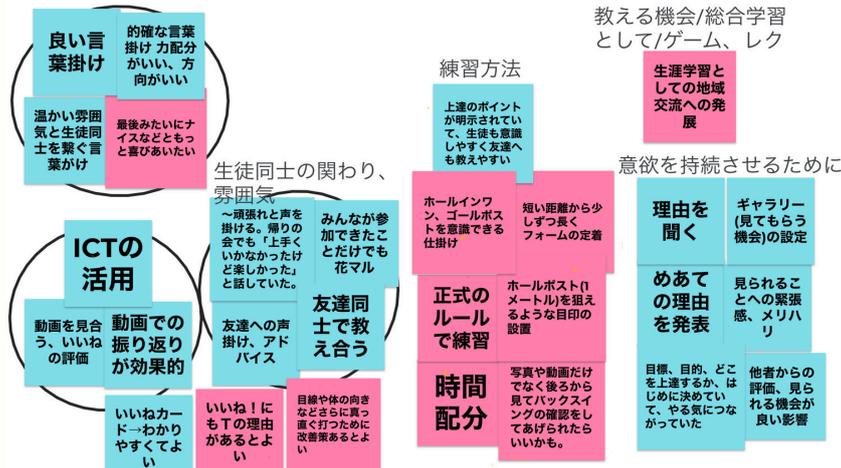


<特総体グラウンドゴルフ大会での様子>

個人戦に出場し、仲間同士で「頑張れ」「ナイス」など言葉を掛け合い試合を進めました。結果はホールインワン賞獲得、個人優勝、5人全員がショートホールで2打で入れるなど力加減を考えて打つことができ、授業の成果を発揮しました。



意欲を持続させる働き掛けについて



【協議で話題になった主な内容】

- 動画のスローモーションを有効に活用して客観的に確認できていた。
- 上手になるポイントが整理されていて分かりやすかった。
- なぜまっすぐ打てたのか、理由まで考えて練習していた。
- 暖かい雰囲気の中で生徒同士が「がんばれ、もう少し、おいしい」など言葉を掛けていた。

【今後に向けて】

- ホールポストを意識できるよう、ホールポスト近くに直径1～2メートルで目印を付ける。
- ボールやクラブの目印などを無くして正式なルールで練習をする。
- 地域のグラウンドゴルフ愛好家の方々と交流し、上手なプレーを参考にする。

講評 秋田大学教育文化学部 教授 藤井 慶博先生

グラウンドゴルフの教材、教科別の指導について

- 保健体育科において、どの競技を選択し、技術を高めるのが教材の選定が大切である。グラウンドゴルフは、ユニバーサルな点、地域の人々と交流ができる点、生涯学習の観点、特総体に向けての意欲付けの点などから教科別の指導として適切な設定であった。また、グラウンドゴルフはボールの距離、ボールの方向性、戦略を考える要素があり、それらの技術を向上することが必要である。今回の生徒たちの様子を見ていて、ロングホールの場合、ホールポストに直接入れるのは難しいため、ホールポストの直径2メートルを視覚的に示すことで、2打目で入れるなど戦略を考えられると思う。

意欲を持続させる働き掛けについて

- 集団随伴性が機能しており、生徒同士がアドバイスをやりとりし、対話的な学びが実現して自分たちで課題解決をしていた。技能の向上を目指すために、タブレット端末で撮影した動画を共有し、なぜ良いショットなのか、なぜ良くなかったかについてその都度確認をされていて効果的だった。今回は映像が効果的であったが、生徒の実態によっては手取足取りで教師が教えることも必要だと思う。
- スコアの意識付けがあると、今日は何打だった、前回は何打だったについて比較ができたと思う。
- 「いいねカード」は外発的動機付けとして有効だった。一方で、スコアの上達は内発的動機付けにつながるため、いかに内発的動機付けにつなげていくかが大切である。

生涯学習の観点から

- 学習指導要領の保健体育科の見方・考え方の中に、生涯に渡るスポーツライフを実現していくことが大切であると記載されている。総合的な学習の時間で地域のグラウンドゴルフの愛好家と交流し、上手なプレーを見て学ぶことで、もっと上手になりたいと思う動機付けにつながると思う。

教科別の指導として

- 今回の授業は生活単元学習でも行うことができたと思うが、保健体育科としてのねらいが焦点化されており教科別の指導の良い点が表れていた。

指導案の記載について

- 特別支援学校の指導案は「1生徒について2題材について」で記載されることがほとんどであるが、「1題材について2生徒について」の順番にした方が題材観を明確にし、生徒の実態も焦点化されると思う。また指導上の配慮についても生徒の実態や課題に即した内容になるのではないかなと思う。

